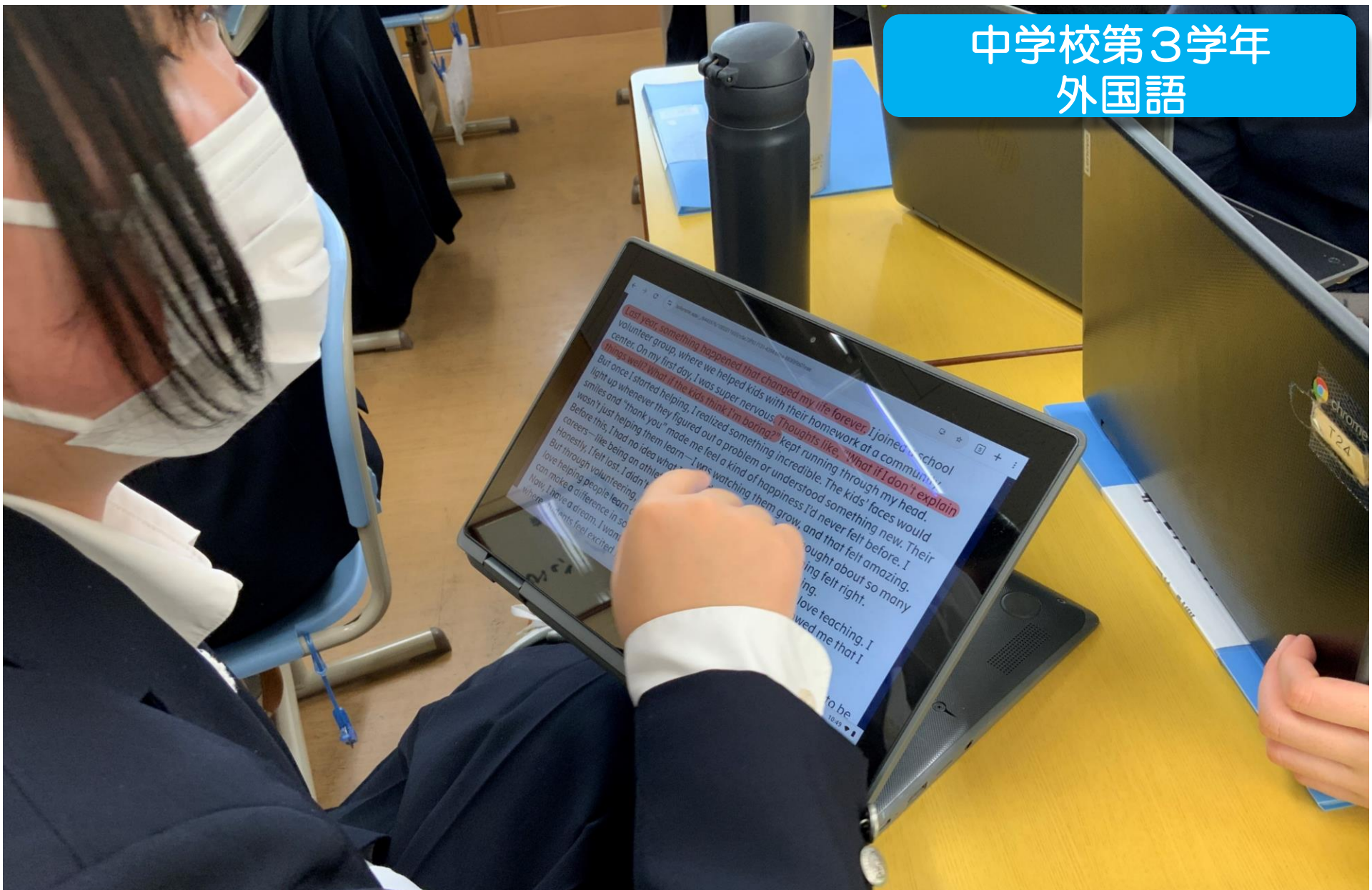


中学校第3学年 外国語



英語のスピーチの構成に悩む生徒が、生成AIで教師が作成した英文と自分の案を比較して、自分が伝えたい内容を更に深める。

中学校第3学年 外国語 「This is Me」

■単元の目標

クラスメイトに向けて「This is me」を伝えるために、様々なスピーチ文を自分の考えと比較しながら読んだり、友達とやり取りしたりしたことを基に、伝える内容をメモに整理することを通して、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができる。

■単元の概要

将来の夢について、書き手や構成が異なる様々なスピーチ文や自分のキャリアパスポート、過去の学習の振り返りなどに触れながら、伝える内容をメモに整理して表現することを繰り返し行う。

■単元の指導計画（9時間）

第1時

「単元の見通しをもつ」

- ・昨年度の自分の動画を見返し、内容面や構成面、言語面について現在の姿と比較する。
- ・「自己の変容・成長」について英語でやり取りをし、単元の見通しをもつ。
- ・卒業生などの過去のスピーチ動画を見る。

第2～5時

「教科書の内容・表現について考えを深める」

- ・学習者用デジタル教科書、Natural Reader、ELSA Analyzer も用いながら、教科書内容の理解を深める。（個別最適な学び）
- ・考えたことや感じたこと、スピーチの工夫点について友達とやり取りする。（協働的な学び）

第6～9時

「読む→考える→整理する→話す」

- ・スピーチ文を自分の考えと比較しながら読み、情報の吟味、整理、発表を繰り返し行う。
- ・生成AIを補助的に用いて英文を読む。
- ・必要に応じて、キャリアパスポート、総合的な学習の時間での学びを蓄積した「生き方シート」を見返す。

■単位時間の概要

2年次に行った「将来の夢」の発表動画やメモを振り返り、現在の自分の姿と比較する。「自己の変容・成長」について英語でやり取りをした後、3年間共に過ごしたクラスメイトに卒業スピーチを行うという単元のゴールの活動を理解し、見通しをもつ。

教科書に載っているスピーチ文について、ICT（生成AIを含む）も用いながら「聞く、読む、話す」活動に取り組み、内容や構成、言語面の理解を深める。教科書のスピーチから考えたことや感じたこと、スピーチの工夫点について、友達と英語でやり取りする。

自分のスピーチの課題（内容面、構成面、言語面）を解決するために、教師が生成AIを活用して作成した「書き手」「構成」「語彙数」が異なる複数のスピーチ英文を複数選択する。自分の考えと比較しながら選択した英文を読んだり、キャリアパスポートなどを活用して自己と向き合ったりする学習（個別最適な学び）と、考えたことを友達と英語でやり取りする学習（協働的な学び）を往還しながら、スピーチの内容を深めていく。

■資質・能力が育成され「深い学び」が実現している生徒の姿（第7時）

【学習活動の場面】

伝えたい内容をメモに整理し、教科書のスピーチを読んだ生徒たちは「将来の夢に対する考え方や表現（段落構成や言語面）が参考になったので、もっと他のスピーチにも触れたい」との考えをもった。そこで教師は「**自分の考えを深めるために、様々なスピーチを選んで読み、自分のスピーチに生かそう**」と投げかけた。

【生徒の「深い学び」の姿】

Aの本時の目標「将来の夢（職業）が決まっていないので、スピーチの構成に悩んでいる。「将来」そのものについて他の人がどう考えているか知りたいし、読み手を惹きつけられるような導入にしていきたい。」

Aは、「イギリス在住、同い年、夢がテーマ、350語のスピーチ」を選択した。

- ・読んで考えたことのメモの一部
- 「夢＝職業ではなく、生涯を通してやりたいこと」
- 「職業が決まっていない人が多い」
- 「将来に対しての考え方が違う」



- ・クラウド上で共有された同じ英文を選んだ友達のメモ（スピーチを読んで考えたこと）を参考に、自身のキャリアパスポートを振り返り、スピーチメモを整理した。

Aは、考えを整理して友達に発表した後、振り返りを記述した。

「将来の夢がないので何も伝えられないと思っていたが、「what we enjoy or what we are good at」の部分を読んで、自信をもって自分のしたいことを伝えたいと思ったし、今までにない考え方に触れることができた。小学校の自分がどんな考えだったのか知ることができたので、導入の工夫として当時の気持ちを伝えたい。」

【当該指導での「深い学び」】

Aは、**様々な内容のスピーチをICTを活用しながら読むことで、自分と比較しながら考え、書き手の思いや工夫点等に気付いた。それらを整理することで、自分の伝えたい内容を更に深めることができた。**

■指導上の工夫とICTの利活用

①生徒が、カテゴライズされたスピーチ英文をクラス共有ノートから自由に選択できるようにする。

*スピーチ英文を書き手、語彙、構成別に整理して示すことで、生徒が、自分の願いに合った英文を選択することができる。

②生徒が、**自分のペースで英文を読み、考えを深めることができるような場を設定する。**

*単元を通して「聞く、読む、話す」活動で、ICT（生成AIを含む）を活用する場を設けることで、生徒は初めて出会う英文にも抵抗感なく読むことができ、読んだことを基に自分のスピーチ内容を整理することができる。

③**同じスピーチを選択した友達のメモからも考えを共有できる。**

*学級全員のメモを可視化することで、目の前のグループとのやり取りだけではなく、同じスピーチを選択した友達の考えにも触れることができ、自分の考えをさらに深めることができる。

【活用したソフトや機能】ロイロノート（共有・メモ）、Natural Reader（音声読み上げ）、ChatGPT（生成AIによる参考スピーチ作成）、DeepL Write（生成AIを活用した推敲の検討）

学習指導要領や解説との関連

中学校学習指導要領 第2章 第9節 外国語

第2の1の(4)

(4) 話すこと〔発表〕

イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができるようにする。

第2の2の(2)

ア 日常的な話題や社会的な話題について、英語を聞いたり読んだりして必要な情報や考えなどを捉えること。

イ 日常的な話題や社会的な話題について、英語を聞いたり読んだりして得られた情報や表現を、選択したり抽出したりするなどして活用し、話したり書いたりして事実や自分の考え、気持ちなどを表現すること。

ウ 日常的な話題や社会的な話題について、伝える内容を整理し、英語で話したり書いたりして互いに事実や自分の考え、気持ちなどを伝え合うこと。